

羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会（第2回） 議事概要

1. 日 時 : 令和2年3月4日（水）10時00分～12時00分
2. 場 所 : 中央合同庁舎2号館1階 国土交通省共用会議室6
3. 出席者（50音順、敬称略）
[座 長] 竹内健蔵
[委 員] 安藤和代、大橋弘、加藤一誠、花岡伸也、矢ヶ崎紀子
[事務局] 航空ネットワーク部長、航空事業課長 他
4. 議事
(1) 各提案者からのヒアリング
(三沢空港、大館能代空港、山形空港、鳥取空港、石見空港、佐賀空港、下地島空港)
(2) その他
5. 議事経過
各提案者より提案が行われた上で、委員から質疑がなされた。

【委員からの主なご発言】

※事前のくじ引きにより決定した、提案順のとおりに掲載。

<鳥取空港>

- ・ 広域周遊について、米子、岡山、広島近辺にある空港との連携を視野に入れており非常によいことだと思うが、実際に検討している体制について教えて欲しい。
- ・ 高度スキル人材を、副業・兼業として誘致するとあるが、その実効性について教えてほしい。
- ・ 前回コンテストから5年経過したが、4便のときと5便のときで、一番効果があったと思う施策は何か。
- ・ 訪日観光客も随分いると思うが、二次交通を含めた現状の移動手段はどうなっているのか、そして今後の対策をどのようにしていくのか教えてほしい。
- ・ 着陸料を4分の1まで落としても、4便から5便への増便によって費用面での支障がでないのかどうかを教えてほしい。

<石見空港>

- ・インバウンドを国際路線から取り込むことに対して、ANAはどのような政策を具体的に考えているのか教えてほしい。
- ・2便に増えたことで企業の誘致に成功しているとのことであるが、ビジネス需要について、東京を往復している頻度といったデータ分析は行っているか。
- ・提案の中で、欧米豪や訪日ムスリムという言葉があるが、まず目指すべきターゲットは、どこであると考えているのか。

<三沢空港>

- ・青森県は他に青森空港もあるが、三沢空港の知名度向上策について教えてほしい。
- ・青森空港の海外直行便と連携した誘客に関しては、県の関与がポイントだと思うが、その具体策を教えてほしい。
- ・冬などは大変厳しいことから、新幹線を使う方も相当数いるかと思うが、他方で、新幹線を競合として捉えるのかどうかということを知りたい。

<大館能代空港>

- ・現状においてもかなり旅客数が増えているとのことであるが、細かい分析があれば教えてほしい。
- ・冬の需要底上げを図るにあたり、豪州、中国、台湾のスキー・スノーボード一等をターゲットとする戦略は非常に将来性があると思うが、国内でもかなり競争力の高いスノーリゾートができ上がっている中、どのようにこの地域の魅力を出していこうとしているのか、詳しく教えてほしい。

<佐賀空港>

- ・6便目について、どのようなダイヤを想定しているか。
- ・現状では福岡からのビジネス客がターゲットであると思うが、6便になってもそうした旅客需要を維持できるのか確かさを聞きたい。
- ・九州の入口としての佐賀の魅力を最大限活かすという観点から、例えば、新幹線の整備をさらに進めていくというような視点もあり得るかと思うが、どのようにお考えか。
- ・連携体制について、新規の「さがさいこう応援団」が500人位とのことであるが、どのような集団で、どういった利益をもたらすのか。

<下地島空港>

- ・羽田路線が開設されれば、既存の成田路線のLCCが撤退してしまうおそれがあるが、下地島空港活性化協議会では、それについてどのように考えるか。
- ・オーバーツーリズムの懸念がかなり実在化しており、宮古島自体の資源が自然であることから、羽田便開設による資源の持続可能性をどのように考えるか。

<山形空港>

- ・既に、ビジネス利用が高く予約がとりにくい状況かと思うが、観光客の呼び込みはどのように行うのか教えてほしい。
- ・デジタルマーケティングは誰が音頭を取ってやっているのか。また、その予算について教えてほしい。
- ・FIT向けの商品をつくっても売れないという状況が全国津々浦々にあり、流通に乗せていかなければいけないのだが、そうしたところもしっかり視野に入れて個札対応をするということによろしいか。

以上